

氏名

シガ	モモトシ
志賀	百年

所属	顎口腔機能矯正学分野		
職名	准教授		
最終学歴	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	学位	博士（歯学）

専 門 分 野		歯科矯正学			
教 育 実 績	担当講座名称	単位数	講義時間数	実習時間数	学科・院の別
	歯科矯正学Ⅰ	1 単位	4.0 時間	時間	歯学科
	歯科矯正学Ⅱ	2 単位	6.0 時間	時間	歯学科
	歯科矯正学Ⅱ（実習）	2 単位	時間	60.0 時間	歯学科
	成長発育総論	1 単位	4.0 時間	時間	歯学科
	歯科矯正学1, 2	3 単位	9.0 時間	10.0 時間	大学院 博士課程
大学運営における主な役職履歴（過去5年間）		矯正歯科副科長			
研 究 分 野		矯正歯科			
研究課題	課題名	歯根膜弾性線維の機能解析 顎顔面の成長発育に関する調査・研究 NAMの臨床的評価方法に関わる研究			
	キーワード （5つまで）	歯根膜、弾性線維、歯根膜細胞、fibrillin, periostin			
	共同研究等の実績	聖隷浜松病院、東京医科歯科大学			
研 究 業 績 （著書・発表論文等） （主 要 5 編）	Yamaji K, Morita J, Watanabe T, Gunjigake K, Nakatomi M, Shiga M, Ono K, Moriyama K, Kawamoto T. : Maldevelopment of the submandibular gland in a mouse model of apert syndrome. Dev Dyn. 247(11):1175-1185, 2018.				
	Ding X, Suzuki S, Shiga M, Ohbayashi N, Kurabayashi T, Moriyama K.: Evaluation of tongue volume and oral cavity capacity using cone-beam computed tomography. Odontology. 2018 Jul;106(3):266-273.				
	志賀百年、川元龍夫. 歯根膜における弾性線維の役割の探索. 九州歯科学会雑誌 72(1), 1-6, 2018.				
	志賀百年、澤田紘美、笹栗正明、竹内啓人、田中秀生、角谷徳芳、川元龍夫. Nasoalveolar molding (NAM)を用いた片側性口唇・口蓋裂児の治療における鼻形態と口唇の変化. 九州矯正歯科学会雑誌14巻1号, 19-24, 2018.				
		Kamata H, Higashihori N, Fukuoka H, Shiga M, Kawamoto T, Moriyama K. Comprehending the three-dimensional mandibular morphology of facial asymmetry patients with mandibular prognathism. Prog Orthod. 2017; Dec 15;18(1):43.			
産学官連携実績 （主 要 3 件）		----- ----- -----			
産学官連携 可能・希望分野					
取得した実用新案特許等 （主 要 5 件）					
所 属 学 会 （主 要 5 件）		日本矯正歯科学会、九州矯正歯科学会、日本口蓋裂学会、日本顎変形症学科、日本先天異常学会、AAO (American Association of Orthodontists)			